

【総領事館からのお知らせ:バリ島でのテロリスト容疑者射殺事件の発生】

平成24年3月19日(総12第10号)

在デンパサール日本国総領事館

19日当地紙は、18日夜にバリ島において、5名のテロリスト容疑者がインドネシア国家警察対テロ対策部隊によって射殺された旨報じていますところ、概要は次の通りです。

なお、事件が発生した現場を含むサヌール地区は、邦人や外国人も多数居住する一角で、バリ日本語補習授業校からも近くとなっていますところ、依然としてテロリスト2名が銃器を持って逃走中の由ですので、事務所や住宅の警備等には御注意下さい。また、テロ事件発生の可能性も否定できませんので、ナイトクラブ・ディスコ等の人が大勢集まる場所には十分に御注意下さい。

1. 18日午後9時過ぎ、バリ島のデンパサール市西部及びサヌール地区のニカ所において、インドネシア国家警察対テロ部隊(DENSUS88)が尾行していたテロリストグループに対して、一斉取り締まりが行われ、テロリストグループとの間で一部銃撃戦の末、同グループ5名が射殺。同グループは7名から構成されており、2名が逃走中。

2. 射殺された5名の内訳は以下のとおり。

(1)HN(32歳)バンドン出身。メダンのCIMBニアガ銀行強盗事件の指名手配者。

(2)AG(30歳)バリ島ジンバラン住民

(3)UH又はKaptan

(4)Dd(27歳)バンドン出身

(5)M又はAbu Hanif(30歳)マカッサル出身

(上記(1)及び(2)がデンパサール市西部の Gunung Soputan 通りで射殺。(3)～(5)がサヌール地区 Danau Poso 通り 99 番バンガロー前で射殺。)

3. 警察によれば、上記テロリストグループは、バリ島においてテロ行為及び外貨両替所や宝石店等への強盗を計画しており、そのため何カ所かの下見を行っていた由であるがそれが事前に発覚したもの。サヌールで射殺された3名については、クタのハードロック・カフェから警察が尾行し、タクシーから降りたところを取り囲もうとしたところ、銃撃戦が発生し、結果として3名が射殺された。

以上